

②子ども・子育てを取り巻く現状と課題について

【関連資料②】

「新させぼっ子未来プラン」の進捗状況の資料データ〔統計データ〕

○統計資料（佐世保市・全国）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1

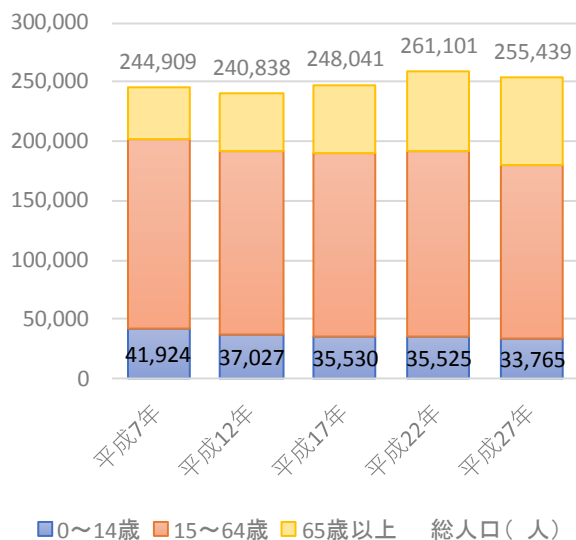
計画の進捗状況に係る資料データ

■年齢 3 区分別人口の推移

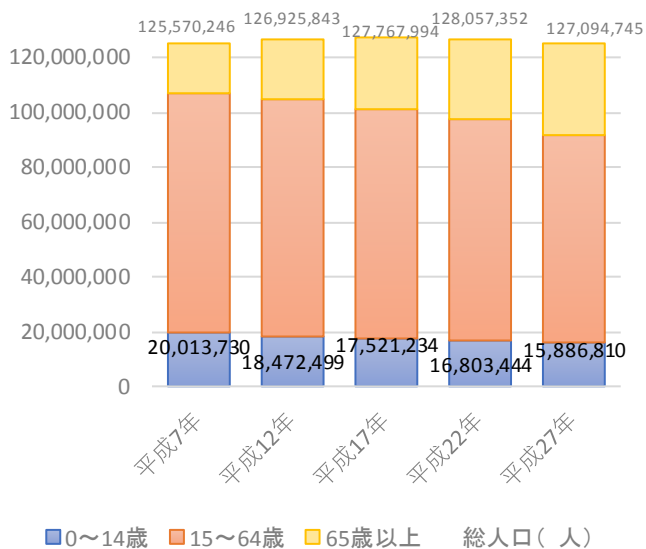
●人口減少社会の到来

本市の人口は平成 12 年以降増加が続いていましたが、平成 27 年には減少に転じ、255,439 人となっています。これは全国の傾向と同じであり、人口減少社会が到来したことがわかります。

◆佐世保市



◆全国

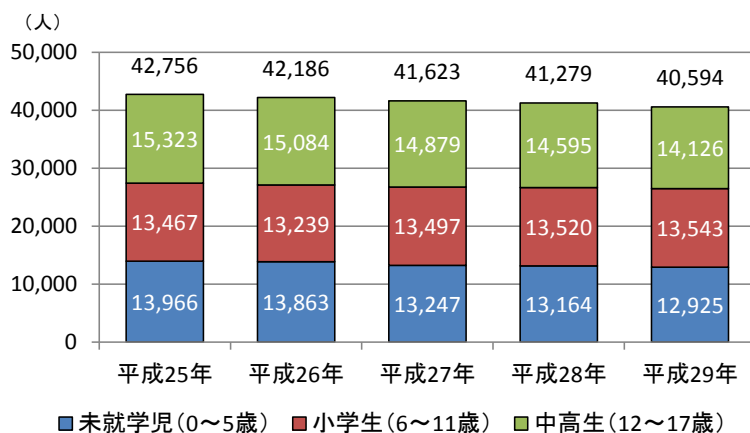


資料：国勢調査

■18 歳未満（児童）人口の推移

●少子化は本市においても顕著である

全国的に急速な少子化が進行しており、本市においても、18 歳未満人口が平成 25 年から 29 年の間に 5.1%減少しています。

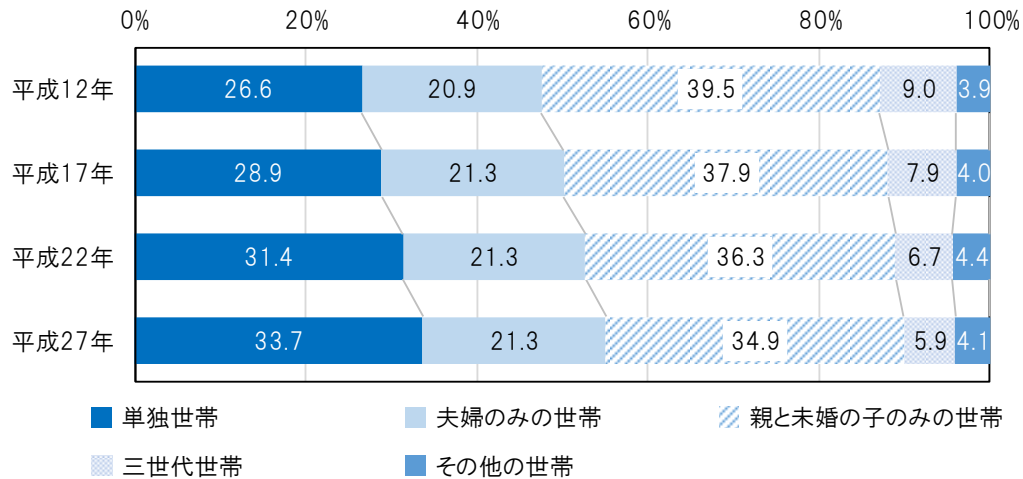


資料：住民基本台帳

■世帯構成割合の推移

●単独世帯割合は増加傾向。親子のみ世帯、三世帯世帯の割合は減少

本市の世帯構成割合の推移をみると、「単独世帯」割合は増加が続いている一方、「親と未婚の子のみの世帯」、「三世帯世帯」の割合は減少が続いています。



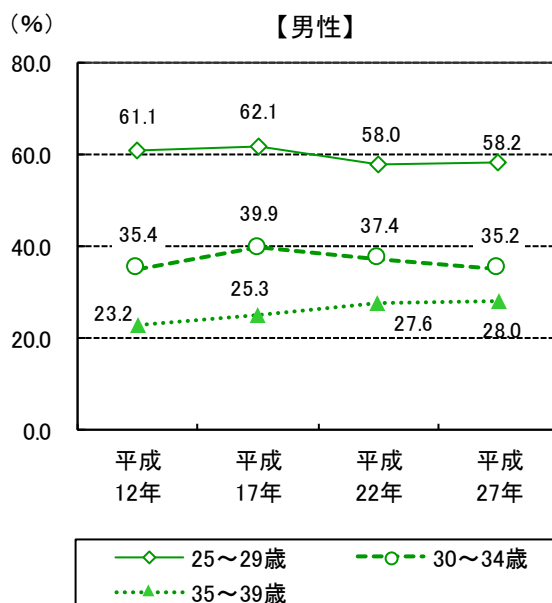
資料：国勢調査

■未婚率の推移

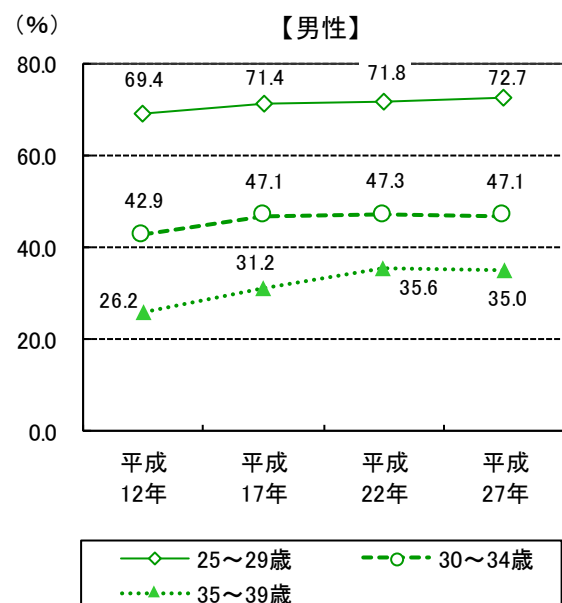
●一部で未婚率の低下がみられる

未婚率の推移をみると、30～34歳の年代を中心に未婚率の低下、すなわち結婚している人が増えている状況がみられます。全国的には微増の傾向となっており、未婚率の増加傾向は鈍化しています。

◆佐世保市

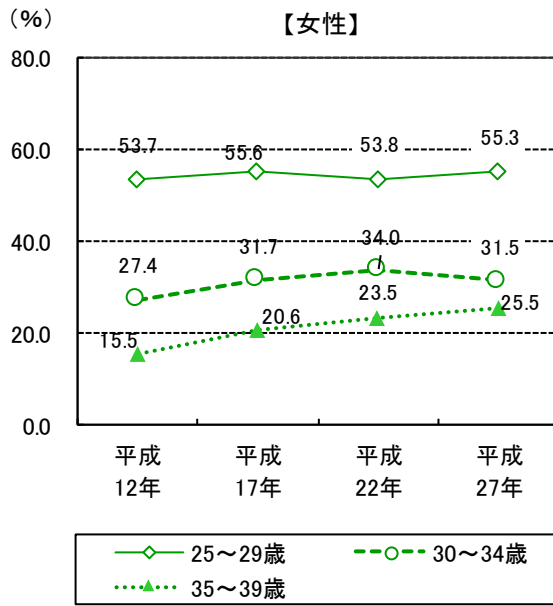


◆全国

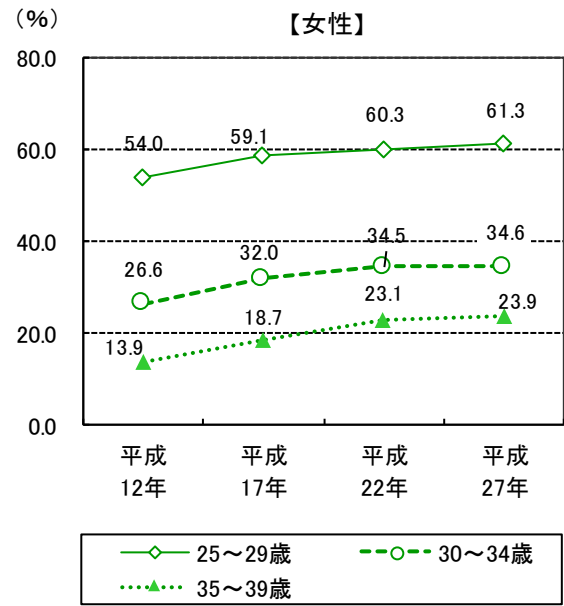


資料：国勢調査

◆佐世保市



◆全国

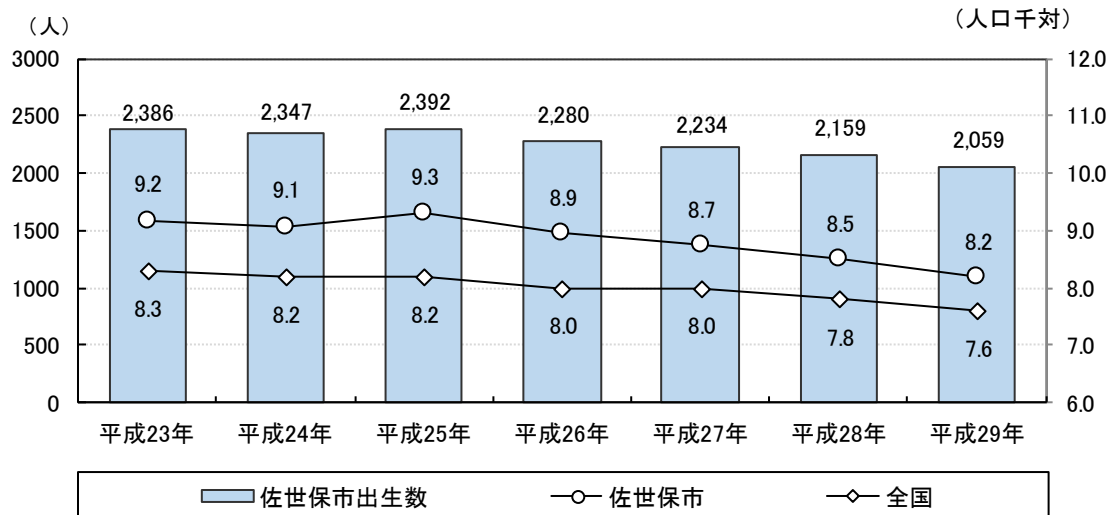


資料：国勢調査

出生数の推移

●市・国ともに減少傾向が続いている

出生数と出生率の推移をみると、市・国ともに減少傾向が続いています。出生率で比較すると本市の方が1ポイント高くなっています。



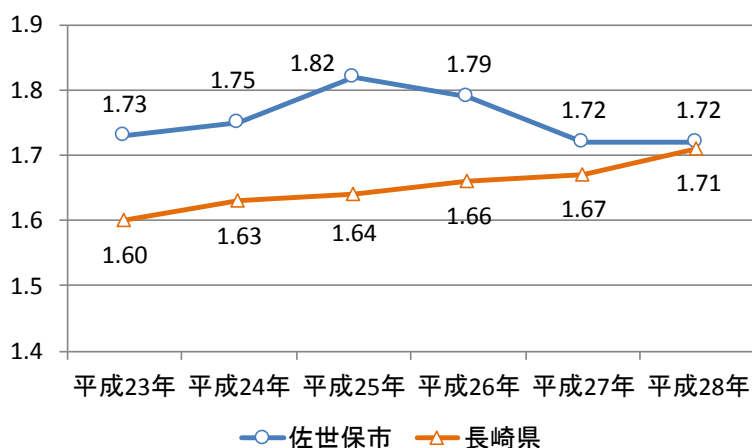
資料：人口動態調査

■合計特殊出生率の推移

●平成 25 年からの減少は下げ止まりに

本市の合計特殊出生率をみると、平成 25 年以降減少が続いていましたが、平成 28 年は横ばいとなる 1.72 となっています。

県と比較すると、掲載期間を通じて本市の方が高くなっていますが、県では増加が続いており、平成 28 年には 0.01 ポイント差となっています。

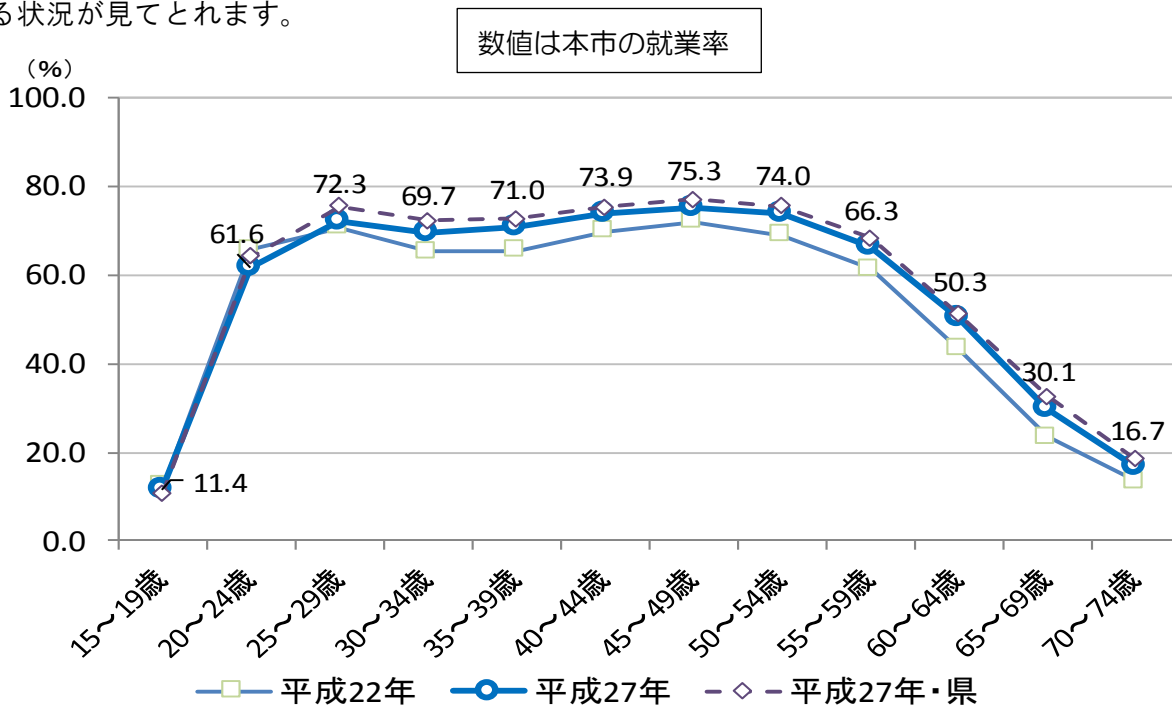


資料：衛生統計年報

■女性の就業率の状況

●就業率は増加傾向。県平均と同程度の水準に

本市の女性の就業率は、平成 22 年から 27 年にかけて、幅広い世代で増加しており、就業が進んでいる状況が見てとれます。

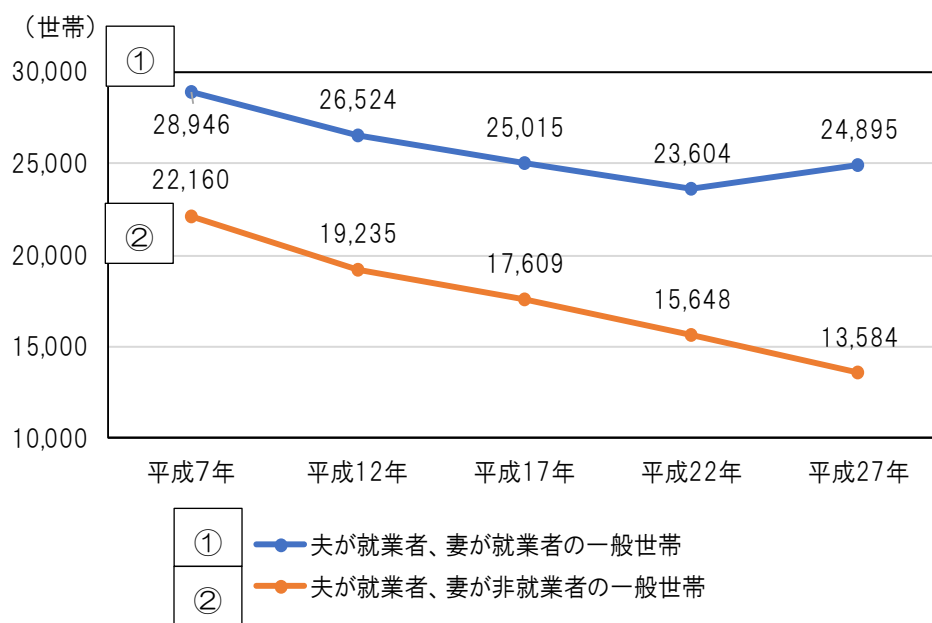


資料：国勢調査

■共働き世帯の推移

●直近の調査では共働き世帯が増加に転じる

夫・妻のいずれも就業者である一般世帯数は減少が続いていましたが、平成 27 年には増加に転じています。一方、夫が就業者で妻が非就業者の一般世帯数は一貫して減少しています。



資料：国勢調査